

令和５年度 第２回練馬区立生涯学習センター運営懇談会 会議要録（概要）

- 1 日時 令和６年３月８日（金）午前１０時～１０時５５分
- 2 場所 生涯学習センター 第１・第２会議室
- 3 出席者 長田委員、井藤委員、岡本委員、長富委員、山本委員、押田委員
（練馬区）文化・生涯学習課長 （事務局）生涯学習センター所長、副所長
- 4 欠席者 川井委員、田村委員、鈴木委員
- 5 傍聴者 なし
- 6 次第
 - (1) 文化・生涯学習課長挨拶
 - (2) 議題
 - ① 令和５年度事業結果報告
 - ② 施設利用状況
 - (3) その他
- 7 配布資料
 - 資料１ 令和５年度 事業結果報告
 - 資料２－１～２－４ 施設利用状況
 - 資料３－１・３－２ 利用者アンケート結果
- 8 会議の概要
 - (1) 文化・生涯学習課長挨拶
 - (2) 議題
 - ①令和５年度事業結果報告
事務局から資料１に基づき説明（内容省略）
 - ②施設利用状況
事務局から資料２－１から資料２－４に基づき説明（内容省略）
 - ③利用者アンケート結果
事務局から資料３－１・３－２に基づき説明（内容省略）

〈副座長〉 以上の報告内容について、委員の皆様からご意見をお願いいたします。

〈委員〉 13 ページの「生涯学習センター利用者アンケート結果」の「施設内の設備の使い方」について、「悪い」という意見6件について質問です。アンケートには、バリアフリーの有無などの具体的な記述があったのでしょうか。

〈所長〉 具体的に書かれたご意見もありました。センター会議室の空調設備や、分館手すりなどバリアフリーに関するご意見です。

〈委員〉 縁ジョイ倶楽部では、各連盟やサークルの方々の協力のもと成功しているようで、素晴らしいと思います。

〈委員〉 盆踊り講習会は7月5日と6日に行うので、皆様、是非いらしてください。太鼓連盟の皆様も、当日はご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

〈委員〉 文化活動を盛んにするには、我々文化団体協議会ももっと努力しなくてはいけないと思いました。

〈委員〉 7ページの「児童合唱団」ですが、4月1日に55名だった団員が、いまは66名に増えているようですね。保護者が入れたいと思うのでしょうか。

〈所長〉 保護者が熱心なご家庭ももちろんあるでしょうが、入団面接の際に尋ねると、歌うことが好きで自分から入団を希望する子供が増えているようです。

〈課長〉 練馬児童合唱団は歴史があり、この分野では非常に有名な存在です。これまでは小学校2年生に限って募集をしてきましたが、令和4年度からは募集方法を変更して、小学校2年生から高校生まで途中入団可としたことも入団希望者の増につながったのかもしれません。

〈委員〉 合唱の練習は練馬で行っているのでしょうか。

〈課長〉 生涯学習センターで行っております。

〈課長〉 練馬文化センターは一昨年 11 月から大規模改修工事を行っていましたが、5 月 1 日からリニューアルオープンします。今回の改修の一番の目的は、東日本大震災後に定められた建築基準法上の耐震基準に基づいて、特定天井、吊り天井の改修が必要であったということです。また、大ホールや小ホールの椅子、舞台機構、照明等も更新しています。区民文化祭等で文化センターを使用されていた団体の皆様も、これまで通りご活用いただければと思います。

〈副座長〉 縁ジョイ倶楽部の講演会は、非常に良かったです。講演終了後、参加者をサークル活動紹介の場に導く形式です。講演を聴き、自分は今後こういった活動をすればいいかと考えている参加者に知恵を授けるのです。なかなか一歩が踏み出せない人をオープンキャンパスに連れていき、「みな気楽に楽しんでいる、自分にもできそうだ」と思ってもらうのです。今年が第一回目でしたが、今後も計画しているのであれば、今回のコラボ形式のような、講演会プラスαの形で行ってほしいと思います。

〈所長〉 令和 6 年度の縁ジョイ倶楽部講演会につきましても、今回の形が非常に好評だったため、各団体の皆様にご協力をお願いしているところです。講演会の講師には、団体の皆様の活動に関連するような内容で依頼し、引き続きオープンキャンパス形式で行う予定です。

〈委員〉 文化団体とは別に、生涯学習センターの自主サークル連絡会もあります。サークル文化祭は年 2 回行っています。サークル文化祭（舞台）ですが、6 月 23 日に民謡などの和物、30 日に社交ダンスなどの洋物の発表をセンターのホールで行います。皆さん是非いらしてください。

〈所長〉 サークル文化祭については、現在、チラシを作成中です。和物、洋物各 7 団体が参加の予定です。

〈委員〉 縁ジョイ倶楽部の講座卒業生は参加資格がありますか。

〈所長〉 センターのサークルで活動していれば参加できます。

(5) その他

〈委員〉 牧野富太郎のドラマ放映による影響は何かありましたか。

〈課長〉 大泉学園の「牧野記念庭園」には、ドラマ放映にあわせて再現した書斎があります。3か月間で過去1年相当の入場者数となったようです。

〈委員〉 ワーナーブラザーズの施設ができた影響はいかがでしょうか。

〈課長〉 ワーナーからは来場者数の情報は得ておりませんが、練馬区は地域の商店街とコラボをして様々な取組を行ってきました。区側のスタンスとしては、施設利用後に商店街を歩いて練馬を楽しんでいただく流れができれば良いという考えです。豊島園には、池袋駅から西武池袋線で来る方が多いと思います。文化・生涯学習課の管轄で、向山庭園という茶室を備えた日本庭園が駅のそばにあります。外国人来園者も多いのですが、ワーナーの施設ができた後は、そちらから流れてくる方も多いようですので、協力して何か企画ができたかと考えています。

〈副座長〉 チラシは棚に置くだけでなく、各利用者に個別に配ってはいかがでしょうか。ただ置いておくよりも関心を持つ人が増えるかもしれません。また寿大学スクーリングは、チラシ配布だけで利用者が集まったという話でした。情報を広める方法では、情報提供のあり方を考えていけばより良くなるのではないのでしょうか。何かを活動を始めたいと思っている人が3割、関心のない人が7割だとしたら、その7割の人にどうアプローチするかということが非常に大事だということです。口コミによって広めていく力は大きいので、その仕組みづくりについて考えていきたいと思います。また、各団体同士がコラボをして企画を行うのも良いのではないのでしょうか。

〈委員〉 サークルで活動している方々はみなさん年齢と比べて若いと思います。

〈副座長〉 活動している人たちは気持ちが若いです。実際の年齢以上に活力や意欲があると思います。

〈課長〉 児童合唱団では、演奏会参加者が「とても良い演奏だった」と他の保護者に話すことで、児童が「自分も歌ってみたい」となる例があるようです。そうした子供たちの社会もあれば、一方で高齢者の社会もあります。誰かがあるイベントに参加して、良かったという話を聞くことでそれがメッセージとして広がり、伝わることも多いと思います。せんば太鼓の活動もそうなのではないのでしょうか。それぞれの社会で、イベントに参加した人が、参加して良かったことを広めていくのです。縁ジョイ倶楽部でも、一人の参加者がそう思うことで広がっていくのでしょうか。ポイントとしては、各社会で最初に参加した人が、楽しかったと他の人に話したくな

るような事業、仕掛けに意味があり、それが今回の縁ジョイ倶楽部講演会だったのではないのでしょうか。講演会を聴いて、各サークルの活動を見学して、自分も参加してみようと思った人が一人でもいれば良いのではないかと思います。

〈副座長〉 他区から練馬に越してきた、あるサークルの90代の女性が、サークル文化祭でとても楽しそうに活動をしていました。引っ越してきて地域にまだ慣れない中で参加しているのです。こうした活動の内容を伝えることができる場があるとよいのではないのでしょうか。「私はまだ80代じゃないか、自分も何かできるのでは」と思ってもらえれば成功です。

〈課長〉 武蔵大学特別履修生制度は、大学に行って授業を聴講する制度で、地域でボランティア活動をしている方などを対象としています。本来モチベーションの高い方々ですが、そうした意欲を意味があるものとしてつないでいくことが大事だと思います。

〈副座長〉 次回の運営懇談会は8月の開催予定となっていますので、委員の皆様、よろしく願いいたします。では、以上で本日の運営懇談会を終了いたします。